(C)河北新報社

仙台大4強逃す

1―3 神奈川大に敗れる

全日本大学野球

全日本大学野球選手権第4日は13日、神宮球場で準々決勝が行われ、仙台六大学野球代表として初出場の仙台大は神奈川大（神奈川）に1―3で敗れ、4強入りを果たせなかった。

仙台大は0―1の二回、1死二、三塁から加藤大地の二ゴロの間に三走薄井新が生還し追い付いた。しかし、先発熊原健人が六、七回に適時打を許して1点ずつ失った。打線は九回に1死二、三塁の同点機を築いたが、あと一本が出なかった。

神奈川大のほか、愛知学院大（愛知）創価大（東京新大学）東海大（首都）が勝ってベスト4に進んだ。

あと一本が出ず

▽準々決勝

仙台大	打	安	点
(右)鶴田	4	1	0
(指)志田	2	0	0
打指渡辺	0	0	0
打(一)藤内	1	0	0
(三)大坂	4	1	0
(遊)松本	4	1	0
走(左)薄井	2	0	0
(捕)小島	0	0	0
打(中)五十嵐	2	0	0
(二)千葉	2	0	0
打(一)奈良崎	1	0	0
振加藤	4	1	0
球庄司	2	0	0
犠野	1	0	0
併残	0	0	0
7	29	3	1

神奈川大	打	安	点
(右)浜元	3	1	0
(左)胡	4	1	1
(三)小麻	3	1	0
(指)稲室	2	0	0
打指阿部	1	0	0
(二)高橋	4	2	1
(一)能渡	3	1	1
(捕)中瀬	3	3	0
(遊)山浦	3	3	0
(中)山原	3	0	0
振山田	2	0	0
球犠	1	0	0
併残	0	0	0
7	28	6	3

二塁打 胡、麻生、渡辺、小室
三塁打 千葉
盗塁 2

投	手回	打	安	責
熊野	原 6⅓	29	6	3
	口 1⅔	6	0	0
浜児玉	口 7	27	2	1
	亮 2	8	1	0

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
仙台大（仙台六大学）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
神奈川大（神奈川）	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3

【評】仙台大はあと一本が出なかった。0―1の二回、四球と犠打野選で得た1死二、三塁から加藤の二ゴロの間に同点とした。その後は六回に1死二塁、1―3の九回にも1死二、三塁の好機をつくったが、生かせなかった。先発の熊原は同点の六、七回に適時打を許し、持ちこたえられなかった。

○…松本と熊原「悔しさを秋に晴らす」　初戦をタイブレークで制し勢い付く仙台大だったが、4強への壁は厚かった。全日本大学野球選手権初出場の立役者としてチームをけん引してきた主軸の松本（2年）と主戦熊原（3年）は「この悔しさを秋に晴らす」と再出発を誓った。

打線は二回に追い付いたが、その後は好機に追加点を奪えないもどかしい展開。六回1死二塁の勝ち越し機に打席に立った松本は「直球に差し込まれた」と三邪飛。大舞台の2試合は1安打に終わり「再び神宮に戻って来られるように一から出直す」と厳しい表情を浮かべた。

初戦で132球を投げた熊原は先制を許したものの、140キロ台の直球とフォークボールで五回までは最少失点でしのいだ。七回に降板したが「低めに制球できれば、そうは打たれないと自信になった。秋は日本一を目指す」と手応えも口にした。

仙台大―神奈川大　7回に追加点を許し、野口（18）と交代する仙台大の先発・熊原

▽準々決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
福井工大（北陸）	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
愛知学院大（愛知）	0	0	1	0	0	1	0	0	×	2

福坂井、井上、河津―三井
愛原崎、曽田、是枝―稲吉

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
九産大（福岡六大学）	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
創価大（東京新大学）	0	0	1	0	0	0	2	0	×	3

困源田（愛）

（九）浜田、井手―米良
（創）小松、田中―寺嶋

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東海大（首都）	0	1	0	0	0	0	2	1	0	4
大体大（阪神）	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3

（東）丸山、芳賀―大城卓
（大）田村凌、遠藤―木村